

# 伯の西雨時報

平和の基礎固めに西歐本腰

## ソ聯側國聯で又も敗北 七ヶ國の平和提案承認

平和監視と國際軍即時編成

委員會組織と國際軍即時編成

恒久的平和を確保する對策

日本から米國へ

直ちに國際軍編成

經濟協定成立

真珠三十萬個

## コロニア赤色分子の掃蕩を期す



ドール・ネルソン・リベイロ・レイテ

陰険なる使命の遂行に躍起

となつてゐるのである

地球・何れの區域たるを

問はず、およそこの種煽動

分子の一味一見は、その名

ラードが施されているもの

・實体は何れも假面をか

ぶつたコミニスト・オルムー國

ノエル・植民地を訪れたので

あるが、その眞偽せざして

本の如き意外なる事實を知

り、愕然として驚いたので

ある、即ち、前記サン・マ

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた

ノエル・植民地は、六十余家

の日本人家族を以て構成

せられた一大部落であるが

何者かによつて傳播された

流言蜚語が波紋を描いて植

民地に擴大した結果、同地

の如きは、何れも恐慌と混乱

に陥り、平和なるべき植民

地に、何事か只ならぬ事態

が惹起されようとしていた



# NOTICIAS DO BRASIL

Diretor Responsável SANEMI HARADA

Diretor Adminis. e Proprietário SEISAKU KUROISHI

Fundado em 1917

Redação, Administração e Oficina: Rua Heliotropos, 127 — Caixa Postal, 3148 — São Paulo

N.º 3.054

ANO XXXIII

SÃO PAULO, Segunda Feira 23 DE OUTUBRO DE 1950

Circula às Segundas, Quartas e Sextas

文の落葉であるとすれば  
それは野蠻の世界であり  
文明の落葉であるとすれば  
ならぬ

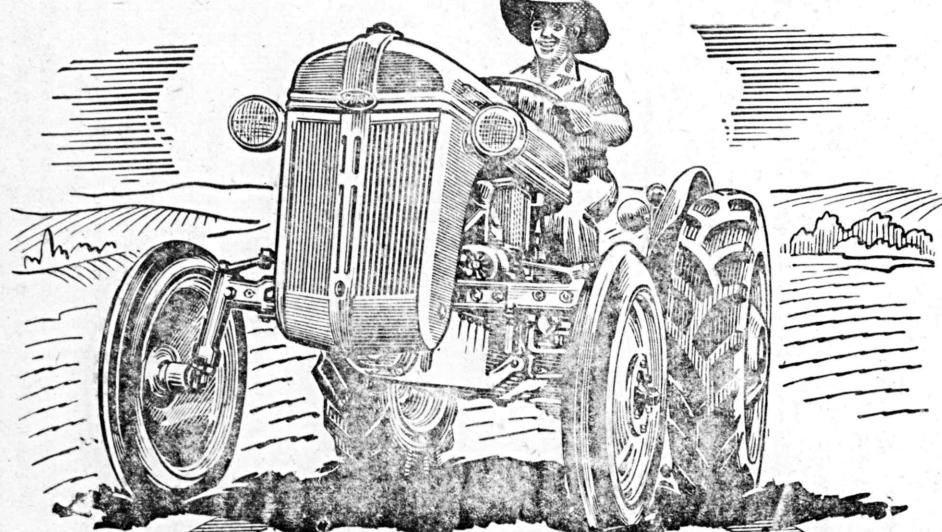
解を強調する「本の世界に」  
きこれを呪いかつ又自分の



末廣ホテル

聖市マウア一街二四八

## ブラジル農業の機械化をめざし



伯國では現在二千臺の  
トラクター・フォードが  
利用されております

FORD MOTOR COMPANY EXPORTS, INC.

Ford TRATOR

農業機械化の責任を感じる當フォード會社は伯國の農業者と共に伯國が農業經濟の解放に向つて一步前進したことを祝福いたします。

**建設！建設！**  
**北パラナ ドラード植民地**  
**宮村殖民主地會社**

北パラナ アブカラナ市マリランジャ大通り一一五

郵局 一五四

O.K. 齧設備  
費術 研究所へ  
歯科醫學  
ビニヤール一〇八  
間山

仲良及委託販賣  
デボント・シロマ  
バナナ、農產物  
取扱項目  
ス三五  
日本海產物工場  
募

北パラナ 市役所内勤の方二十才位より  
二十五才前后、住込制にて數名雇入れたり  
サントス市アヴァニダ・バンディランチ  
ス三五  
工場製造部に勤く獨身の方二十才位より  
は早や起き出でて半に供  
は早や起き出でて半に供

は早や起き出でて半に供  
は早や起き出でて半に供

は早や起き出でて半に供  
は早や起き出でて半に供

は早や起き出でて半に供  
は早や起き出でて半に供

は早や起き出でて半に供  
は早や起き出でて半に供

歯のことなら  
く御視察者には毎土曜日現地へ御案内致しよ  
す。但し日曜日までに御申込下さい  
一城あたり一千八百タルゼイロス也五ヶ年  
積入無利子(三万城の分)但し一九五〇年九月未  
日迄一千家庭に限る

は見るよりかは進歩なり  
むか見るよりかは進歩なり  
ねばかくぞありける」と  
は早や起き出でて半に供

北パラナ アブカラナ市マリランジャ大通り一一五  
郵局 一五四

正しき  
思想下に於ける總親和  
フラン西報社御中  
クリチーバ市 井上又二郎

近頃は特  
にこのアラジ  
ル界限が皮膚  
病でも頗つて  
いるかのよう  
に颶風や稀有の大旱魃  
に罹された堅句が未曾有の  
大降雨のため、各畠に大水  
の懐中で水に食腹するとい  
ふ有難がなことを續々さ  
せて無事の穀倉者にむぎた  
らしい災害を浴びせている  
こうした病變は吾々へ難が  
或はその災禍を避け得られる  
るゝがあるとしても、この  
根本的の治療は極く望みの  
網がないであらう  
そして終戦後伯邦への一  
般はどういふものか著  
く精神的に病化し、精神質  
にかへているやうに思はれ  
る、こうして安住すべきこ  
の地上を住む地の民かな  
らぬものにしてしまふ、こ  
の病弊は窟としてはへ間  
それ同志で治療されない苦  
鬱争いの無くなつた大國的  
らしく士が地上に現はるる  
私も雖然とした在伯邦の  
かも難然とした不安な世の中にし  
思えない  
私はこの不安な世の中にし  
じ日の友情を追憶して懐舊  
のものだしさに想えてしま  
うのである、物を考えたり  
議論をすること自體には少  
しの寄のない處か、若しそ  
れがない世界があるとすれば  
ばそれは野蠻の世界であり  
文明の落葉であるねばなら  
ずむき重ねなりとは云ひ難い難  
解を強調する「本の世界に」  
きこれを呪いかつ又自分の

拜啓 貴社が日々益々隆盛に向はれる有様をながめておよろこび申上げま  
す、蓄音機のレコードの青春は並木からというのに「暗く身にしむ灰をこ  
らえ忍んだ枝々に、いか萌んだ絶の葉、春の知らせは並木からは、笑む  
並木に誘はれて、何にか僕等の心にも、かくし切れない明るかな氣持がしん  
から湧いてくる」とあるが、私の細な病人でさえ此頃は氣持が浮きく」とし  
て來ました、貴社がハウリスカレール門に走らず  
〇〇さんのよう、右色を帯びた軽いっぽい強がり屋と異なり、いつもしき  
念のもとに在伯邦へを普導せられていることをおび申上げます、今後共に強硬  
といつても徒らに右色に走らず、確き信念という意味にて正しき思想下に人和民  
族の總親和のため邁進努力せられんことをくれぐれもお願ひして止まない次第で  
あります、又別紙原稿をお送り致しますから御意に叶えばなるべく御發表の程お  
願い致します

（右の文は私がいつも職務上

本當に世界中で一番本氣に

まれて、いのちをもつて國のことを主  
体して心配している國民は

世間の人々はあまりに小さ  
い個人的怨みをもつてゐる

から、私はいつも日々人同  
志の意見の相違は時に仕  
事がないが爲めに、一方が不  
可ないが爲めに、人間によつて意  
見を異にしてゐるのである

から、私はいつも日々人同  
志の意見の相違は時に仕  
事がないが爲めに、人間によつて意  
見を異にしてゐるのである

から、私はいつも日々人同  
志の意見の相違は時に仕  
事がないが爲めに、人間によつて意